



きざはし

勝田第二中学校 学校だより 第17号

令和8年9月10日(木) 発行

文責：校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

<https://hitachinaka.scho>

<olweb.ne.jp/0820010?tm>

=20260324163759

今年度の「全国学力・学習状況調査」結果より！

夏休み明け、悩みを抱えながらも自身の中で折り合いをつけて、スムーズに学校生活をリスタートできているのは、保護者の皆様の温かな関わりのおかげです。ありがとうございます。さて年度始めの4月に、全国の小学6年、中学3年が一斉に行っている「全国学力・学習状況調査」の結果です。夏休みに結果が届き、分析も完了しましたのでお伝えいたします。本校の学力調査の結果は、経年変化も含めて以下のようになっております。



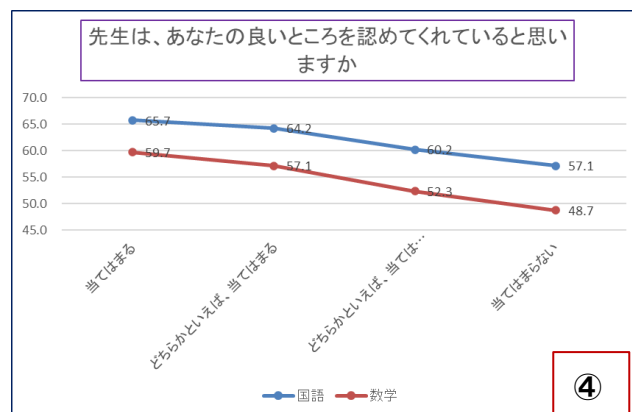
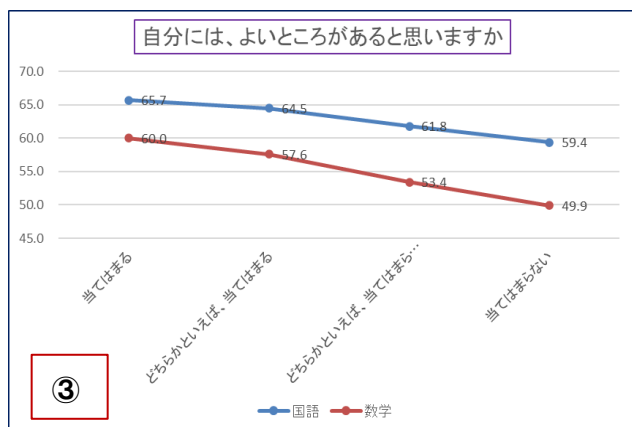
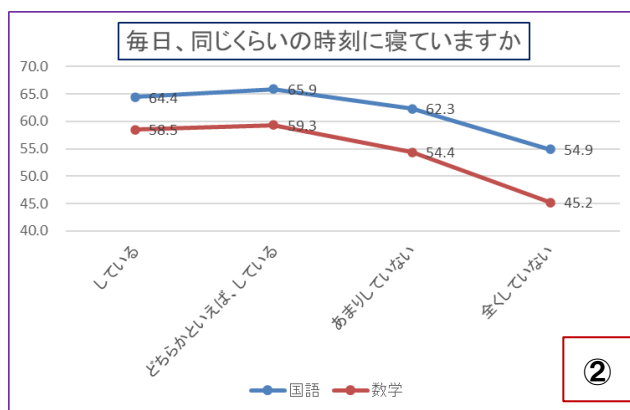
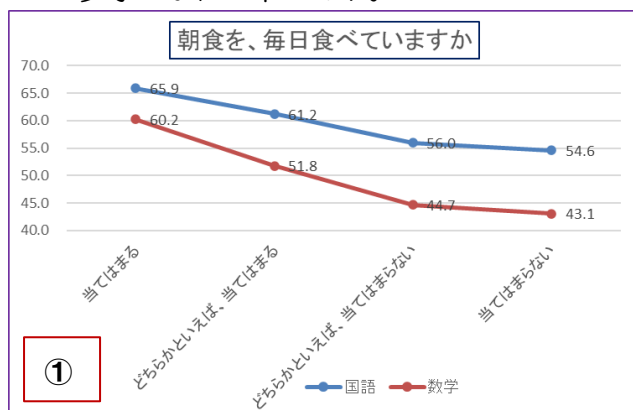
本校の平均正答率	R 6	R 7	R 8
国 語	[全国平均より上回っている]	[全国平均より大きく上回っている]	[全国平均より上回っている]
数 学	[全国平均よりやや上回っている]	[全国平均より大きく上回っている]	[全国平均より大きく上回っている]
英語 (R8) ※IRT スコア			[全国平均とほぼ同じ]

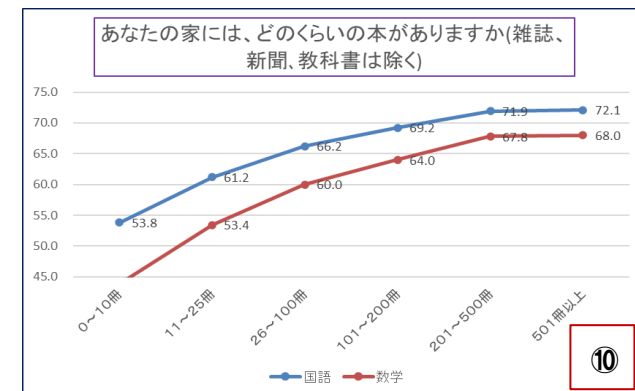
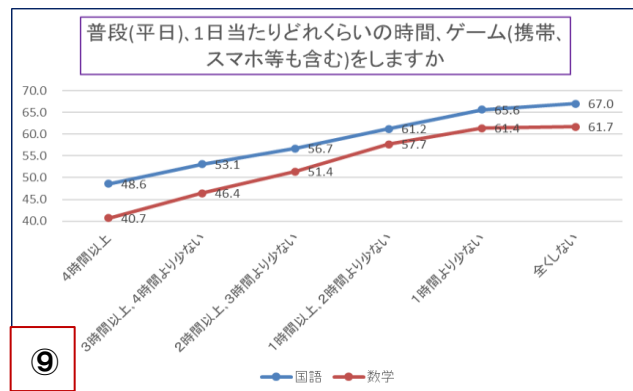
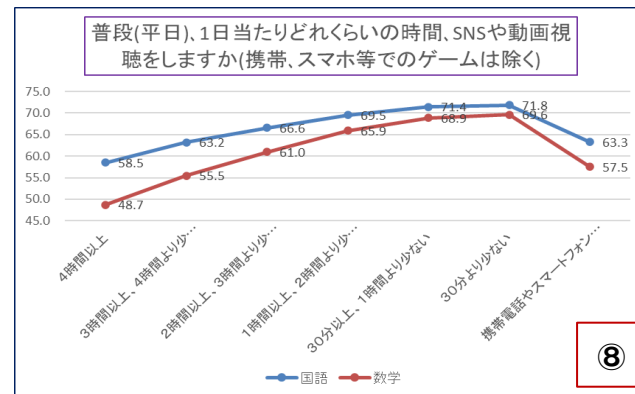
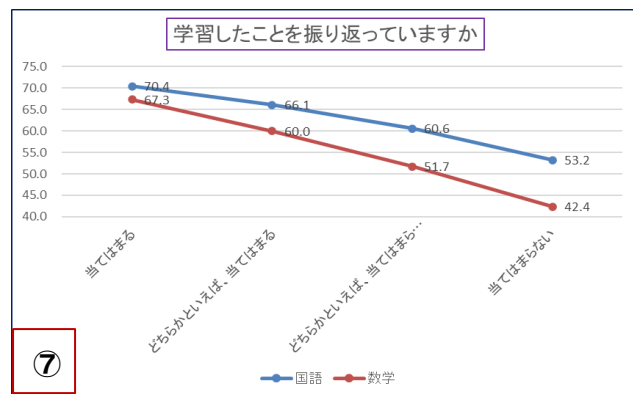
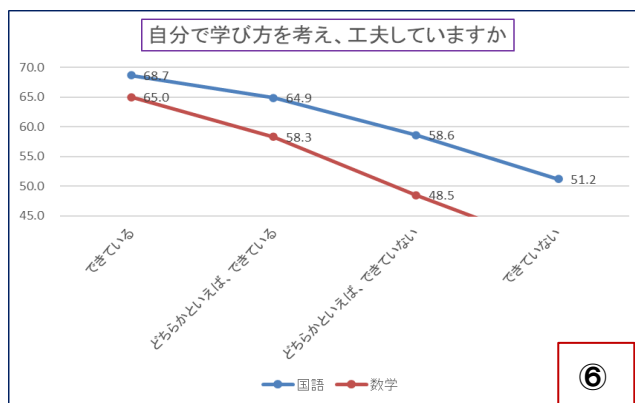
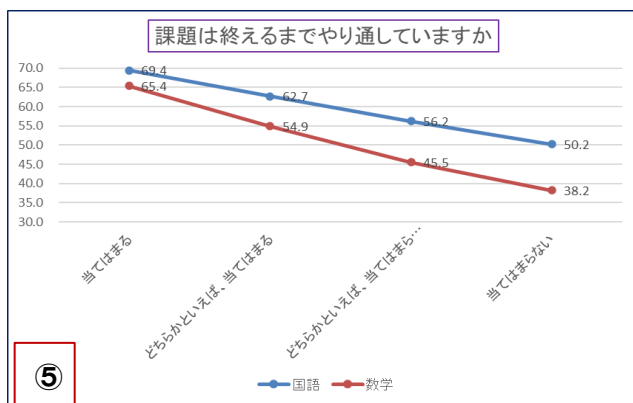
※ []内は全国平均との比較

今後の職員研修で、学力調査の分析結果をもとに対策を検討し実践していきます。国立教育政策研究所が示す授業アイデアなども参考にしながら、「自分の考えを筋道立てて表現する」「獲得知識と既有知識を結び付けて考える」など自分の考えを的確に伝える力の育成に力を入れていきます。

教師自身も、生徒と同じように学び続ける姿勢を大切にしています。研修で学んだことを積極的に授業に取り入れ、日々の実践を通して授業改善を進めてまいります。

※以下は、生徒質問紙と正答率とのクロス集計結果（全国）です。ご家庭でのお子様の関わり方の参考になれば幸いです。





- ① ②…基本的な生活習慣の中でも、重要なのが食事と睡眠です。朝食を毎日食べている生徒や、毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。
- ③…「自分には、よいところがある」と感じている生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。自分のよさや可能性を実感することが、学びに向かう力にもつながっているのかもしれませんが。
- ④…先生から自分のよいところを認めてもらっていると感じている生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。学校でも家庭でも、一人一人のよさや頑張りを認め、次の挑戦への意欲につなげていくことを大切にしたいと考えています。
- ⑤…「課題は終えるまでやり通す」と回答した生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。粘り強く取り組む姿勢や、最後までやり抜こうとする力も、学びを支える大切な力の一つだと考えられます。
- ⑥⑦…「自分で学び方を考え、工夫する」「学習したことを振り返る」と回答した生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。自分に合った学び方を考え、学んだことを振り返りながら、次の学びに生かしていく姿勢が大切だと考えられます。
- ⑧⑨…昨年度も同様の傾向が見られましたが、平日のゲームや SNS、動画視聴の時間が長い生徒ほど、正答率が低い傾向が見られます。家庭で利用時間や利用の仕方について話し合い、子ども自身が時間をコントロールする力を育てていくことが大切だと考えます。
- ⑩…家庭にある本の冊数が多い生徒ほど、正答率が高い傾向が見られます。本が身近にある環境や、日常的に本に触れる機会が、学びを支える一つの要素になっているのかもしれませんが。